

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	RM	学部・学科	国際教養学部
学 年	4 年	派遣国	イギリス
派遣大学	リーズトリニティ大学		
期 間	2024 年 9 月 15 日～ 2025 年 6 月 6 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (10,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (3) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	30,000 円	スーパーでの買い物、カフェなど
学用品購入費	0 円	
交通費	5000 円	電車代
交際費	15,000 円	外食や遊びなど
その他	50,000 円	買い物、旅行など(旅行先によって変動)

合計

10 万 0000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

リーズで危険な思いをしたことは特にありませんでした。キャンパスの周りはとても田舎なので、夜遅くに帰るときは真っ暗でしたが、危なくはなかったです。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他（ ）		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(93,080) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（リーズ ） リーズは比較的大きな都市で、大学もいくつかあります。ロンドンからは電車で2時間ほどかかります。ヨークやマンチェスターなどの観光都市も近くにあります。リーズの中には観光名所はあまりないですが、色々なお店があるので買い物は困りません。リーズ・ユナイテッドというサッカーチームもあり楽しめます。 メインキャンパスのあるホースフォースはシティセンターから電車で15分ほどかかります。キャンパスから最寄り駅は徒歩15分、近くのスーパーまでは20分ほどかかりますが、大学の無料シャトルバスも利用できます。シティセンターにも新しいキャンパスができました。

【学業編】

1. 大学情報

大学	リーズトリニティ大学	所在地	リーズ
最寄空港	リーズブラッドフォード空港/ マンチェスター空港	空港からの距離	車で 10 分(リーズブラッド フォード空港) タクシー・電車で 2 時間半 (マンチェスター空港)
空港⇄大学	リーズブラッドフォード空港：タクシーまたはバス マンチェスター空港：大学からリーズ駅までタクシー、リーズ駅からマンチェ スター空港まで電車 *移動手段		
学生数	?	留学生数	約 15 人
学部	・ Business ・ Children, Young people and Families ・ Computer Science ・ Criminology, Investigation and Policing ・ Digital and Screen Media ・ Health & Life Science ・ Law ・ Psychology and Therapeutic Studies ・ Sport and Wellbeing ・ Teacher Education *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Digital and Screen Media (特に自分で希望したわけではない。交換留学生は色々な学部の授業をとることができた。) *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Studying Religion and Spirituality			Film: Relating Theory to Practice	
午後		Identities and Inequalities			

② (1)月～(3)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Studying Religion and Spirituality		Understanding Literary Genres	Film: Relating Theory to Practice	
午後	Understanding Literary Genres	Identities and Inequalities			

3. 履修内容

科目	Studying Religion and Spirituality		
履修期間	9月～12月・1月～3月	単位数	30(15ECTS)
授業内容／形態	「宗教」という概念の定義や、宗教に関する問題・事例などを考察する。 宗教に関するテーマを決め、アンケート調査とインタビュー調査を行った。 形態：講義中心		
成績	65		
YCU 振替予定	科目	特講(国際教養学部留学科目 A・B・C)	
	単位数	6	
	担当教員		

科目	Identities and Inequalities		
履修期間	9月～12月・1月～3月	単位数	30(15ECTS)
授業内容／形態	イギリスに焦点を当て、不平等、人種、ジェンダー、障がいなど様々な社会問題について事例を用いて学ぶ。 形態：講義中心+グループワークやディスカッション		
成績	79		
YCU 振替予定	科目	インクルージョン論・社会福祉論・特講(国際教養学部留学科目 D)	
	単位数	6	
	担当教員	根岸弓	

科目	Understanding Literary Genres		
履修期間	1月～3月(9月～12月は先生のご都合で休講になり、1月～3月にまわされた)	単位数	30(15ECTS)
授業内容／形態	同じジャンルだとされる 1900 年以前の作品と現代の作品を比較し考察する。ミステリー、バンパイア小説、寄宿学校物語、中世ファンタジーなどを扱った。 講義中心+ディスカッション		
成績	60		
YCU 振替予定	科目	イギリス文学 A・イギリス文学 B・British Literature in English	
	単位数	6	

	担当教員	岩崎徹・大西寿明・ペニーウィリアム
--	------	-------------------

科目	Film: Relating Theory to Practice		
履修期間	9月～12月・1月～3月	単位数	30(15ECTS)
授業内容／形態	映画理論の理解を深め、これらの視点を応用した人々によってメディアが進歩してきた方法について考える。 形態：講義中心		
成績	62		
YCU 振替予定	科目	メディア・リテラシー論・特講(国際教養学部留学科目 E・F)	
	単位数	6	
	担当教員	調文明	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

9 か月間の留学生生活は本当にあっという間でした。終わってみると楽しかった、まだまだイギリスに残りたい、と強く思いますが、実際は悩んだり、落ち込んだりすることが数えきれないほどありました。自分の英語力の低さには何度も絶望しました。授業内では思うように発言できなかったり、発言した後に間違いに気づいたりするたびに悔しさを感じていました。しかし、それでも自分に寄り添ってくださる先生やクラスメイトのおかげで何とか乗り切ることができたと思います。特に、映画の授業の先生の「この大学を選んで勉強しようと思ってただけで、頑張ろうとしているのがわかる」という言葉が印象に残っています。リーズトリニティ大学は小さな大学ですが、その分先生との距離も近く、親身になってサポートして下さります。私は今まで何か困ったことがあると自分で解決しようとしていましたが、留学を通し、勇気を出して周りの人に頼ったり、自分の内面や弱さをさらけ出したりすることで相手との距離が縮まり、自分も楽になるということに気づけました。優しく助けてくれた友人たちをみて、自分も日本に留学しに来ている留学生をサポートしたいと強く思うようになりました。

リーズトリニティ大学を選んでよかったと思いますが、1 学期が 9 月～12 月、2 学期が 1 月～3 月と短いので、物足りなさがありました。また、留学生が少なく留学生向けのイベントも充実していないため、最初は心細かったです。

留学生生活で特に苦戦したのはイギリス英語です。自分にとって聞き取りやすい英語を話す人もいれば、何を言っているかわからないような人もいました。1 対 1 で話すのと比べて、グループで話すときは会話を止めることができないので、ついていけないことがありました。しかし、最初に来た時よりも聞き返す回数が減ったと実感しています。

生活面に関して言うと、円安の影響で基本的にすべてが高かったです。しかし、野菜などは安かったので自炊を頑張っていました。またイギリスの食事は美味しくないをよく聞かれます。スーパーの食べ物などはすごく美味しいわけではありませんが、外食は全く問題なかったです。ヨーロッパは危険なイメージもあるかもしれませんが、私は色々な人が助け合う場面を何度も目にしました。電車などでは、「充電器がないから貸してほしい」「トイレ行ってくるから荷物を見といてくれない?」「この商品を探しているけどどこかわかる?」と知らない人から声をかけられることもあり、反対に自分が助けてもらうことも沢山ありました。もちろん日本より危機感を持って生活していましたが、優しくて余裕のある人が多く、とても生活しやすかったです。

完全に新しい環境で、マイノリティの立場で生活することはとてもいい経験になりました。留学生生活を通し、何かをやってみるハードルが低くなり、前よりも好奇心を持ち行動できるようになったと感じています。留学してよかったと心の底から思います。これからは留学生生活で関わってくれた人たちに恩返しをできるように頑張っていきたいです。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

帰国して英語を使う機会が一気に減ったので、積極的に英語を使う場をつくる必要性を感じています。今はオンライン英会話を始めることを検討しています。社会人になっても、いつか海外の人と関わりながら、英語も使って働きたい思っているので、これからはビジネスで必要となる英語の勉強を行いたいです。留学中にフランス語に触れる機会も多くあり、また勉強を始めようと決意しました。語学力向上に努め、留学で出会った人たちのつながりを大切にしていきたいです。

留学を通して、適応能力やコミュニケーション能力が向上したと思います。慣れない環境でもなんとかやっていけるだろうという自信がついたので、これからも積極的に新しい環境に飛び込んでいきたいです。また、イギリスで「留学生」「マイノリティ」として生活したことで、その大変さも知ることができました。大学の留学生チューター制度を利用するなどして、日本に来た留学生をサポートできたら嬉しいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

私は3年生後期から留学をしました。4年で卒業することを希望していたため、留学前は就活が大きな不安でした。しかし、留学生向けの就活イベントを活用したことで留学と並行して行うことができました。また、多くの企業がオンライン面接を行っているので、日本でする就活と同じようにできるかもしれません。学校の課題や時差の影響もありストレスがかりましたが、計画を立てて進めていけば大丈夫だと思います。

金銭面に関しては、業務スーパー奨学金を受給していました。他にもいろいろな奨学金制度があったので、応募してみることを強くおすすめします。

留学前にしておけばよかったと思うことは、イギリス英語に慣れることです。イギリス初日は、イギリス人と話したときに何を言っているかわからず不安な気持ちでいっぱいになりました。人によってアクセントが違うため、とても難しいです。日本にいるうちからイギリス英語のコンテンツを見るなどして耳を慣らした方が絶対に良いです。

留学前は色々な心配事があるかもしれませんが、失敗も含めて素晴らしい経験ができると思います。